

長崎大学病院 感染症内科（熱研内科）と一緒に診療をしていただける人材（医員、修練医）を募集しています。

- 感染症を主軸に置いて総合内科専門医を取得したいと考えている若手の先生（臨床経験3-5年）、
- 研修期間が終わり感染症専門医を目指したい先生、臨床しながら研究をしたい先生、
- 途上国で医療活動するための国内拠点が欲しい先生、
- 大学病院に拠点をもちながら、離島・へき地・地域医療に関わりたい先生

そんな方はきっと当科に親和性があります。是非我々と一緒に働いてみませんか？

↓↓↓ 興味を持たれた方は下記の紹介文をお読みください。↓↓↓

* * *

長崎大学病院熱研内科は大学病院における一診療科として感染症臨床医の育成と地域医療への貢献を行うとともに、熱帯医学研究所における唯一の臨床分野として、熱帯地域における医療・研究への参加を推進しています。

大学病院においては一般的な感染症から結核、HIVなどの専門的な感染症入院症例をチーム制で診ているほか、院内コンサルテーション、トラベルクリニックを行っております。院内コンサルテーションはほぼ全科（一部の科は除く）から年間500件前後の症例を受けしており、救命救急センターやICUからの紹介も多く、感染症症例の経験には事欠きません。決して大所帯ではなく細々とやっておりますが、以下のようなポリシーで診療・教育に臨んでいます。

【手抜きしない生涯教育】

学生、若手医師向けの研修の充実（感染症症例のポートフォリオ作成と多数の医師によるフィードバック）をはかり、急性期、慢性期とも対応できる内科医の育成、医療資源の乏しい地域においても内科診療を行える内科医の育成を行います。

当科で斡旋している資格として以下のものがあります。

- 総合内科専門医
 - 感染症専門医
 - 渡航医学会認定医
 - Master of Tropical Medicine(MTM; 長崎大学では1年間)
 - Diploma of Tropical Medicine and Hygiene(DTMH; 長崎大学では2020年より開講予定)
 - Ph.D（感染症、臨床疫学、感染疫学、分子生物学、熱帯医学など）
- 有吉教授、鈴木准教授をはじめロンドン大学衛生熱帯医学校(LSHTM)のつながりも強く、

ロンドン大学が主催する DTMH や MTM, Ph.D へ留学斡旋することも可能です。

【柔軟なキャリア形成支援】

ある程度将来の目標が見えて来た中堅医師に関連病院以外の病院あるいは施設での短期研修の機会を与えます。特に途上国での活躍を目指す医師にとっては唯一無二のチャンスを得ることが可能です。

例)

長崎大学熱帯医学研究所熱帯医学修士課程、タイマヒドン大学留学、ロンドン大学、名古屋医療センター感染症科、へき地・離島や地域密着型救急病院にて地域医療研修

【海外医療活動の推進】

国境なき医師団日本の理事を鈴木准教授が兼任しております。2005 年から現在までに当科に所属しながら国境なき医師団に派遣された人数は総勢 5 名、のべ 9 回に上り、その数は国内随一です。他にも様々な形で当科出身医師が海外医療協力や研究に携わってきました。

例) 当科出身医師の海外活動の例

国境なき医師団、ジャパンハート、Swiss - Sierra Leone Foundation、メータオクリニック (タイ)、SATREPS 結核プロジェクト (タイ)、サンラザロ病院長崎大学臨床研究拠点 (フィリピン)、中部ベトナム小児保健プロジェクト (ベトナム)、熱性疾患研究 (ベトナム)、マラリアプロジェクト (ガンビア)、外務省在外医務官

今年 4 月から熱研内科に教授として加わった Chris Smith 教授 (英国家庭医療専門医) やアジア・アフリカからの留学生との定期的なディスカッションもあり、海外活動で必須となる医療英語に暴露される機会が圧倒的に増えます。

【研究者の育成、指導】

アカデミアの強みを最大限に活かし海外講師陣、実績のある研究職のもとでの研究計画、予算獲得、論文作成の一連の指導を行います。西アフリカやアジアでの臨床研究実績のある有吉教授や Chris Smith 教授を筆頭に、臨床だけでは乗り越えることのできない医療の様々な問題に対して、研究という手段で新たな角度から斬り込みます。

最近 1-2 年の代表的な業績：

[1] E Sando, et al. Features Distinguishing Japanese Spotted Fever from Scrub Typhus in a Highly Endemic Area in Central Japan between 2004 and 2015.

Emerg Infect Dis. 2018 (in press)

[2] N Saito, et al. Dose-Dependent Negative Effects of Prior Multiple Vaccinations Against

Influenza A and Influenza B Among School Children: A Study of Kamigoto Island in Japan During the 2011/12, 2012/13 and 2013/14 Influenza Seasons. *Clinical Infectious Diseases* 2018 (in press)

[3] M Mori, et al. The impact of HLA allele-KIR pairs on clinical outcome in HIV CRF01_AE-infected Thai population.

J Acquired Immune Deficiency Synd 2018 Jul 1;78(3):356-361.

[4] Nathanel Lee, et al. Building prognostic models for adverse outcomes in a prospective cohort of hospitalised patients with acute leptospirosis infection in the Philippines.

Trans R Soc Trop Med Hyg. 2018 Dec 1;111(12):531-539.

[5] S Kakiuchi, et al. Accuracy of high-throughput nanofluidic PCR-based pneumococcal serotyping and quantification assays using sputum samples for diagnosing vaccine serotype pneumococcal pneumonia: analyses by composite diagnostic standards and Bayesian latent class models.

J Clin Microbiol. 2018 Apr 25;56(5). pii: e01874-17.

[6] Shimazaki T, et al. Bacterial co-infection and early mortality among pulmonary tuberculosis patients in Manila, The Philippines.

Int J Tuberc Lung Dis. 2018 Jan 1;22(1):65-72.

[7] N Saito, et al. Frequent Community Use of Antibiotics among a Low-Economic Status Population in Manila, the Philippines: A Prospective Assessment Using a Urine Antibiotic Bioassay.

Am J Trop Med Hyg. 2018 May;98(5):1512-1519.

[8] I Yasuda, et al. Severe Pneumonia Caused by Toxigenic *Corynebacterium ulcerans* Infection, Japan.

Emerg Infect Dis, 2018 Mar;24(3):588-591.

[9] Zabihullah R, et al. Risk for Death among Children with Pneumonia, Afghanistan.

Emerg Infect Dis. 2017 Aug;23(8):1404-1408

[10] Gangcuangco LMA, et al. Regional Differences in the Prevalence of Major Opportunistic Infections among Antiretroviral-Naive Human Immunodeficiency Virus

Patients in Japan, Northern Thailand, Northern Vietnam, and the Philippines.

Am J Trop Med Hyg. 2017 Jul;97(1):49-56.

[11] Katsurada N, et al. The impact of virus infections on pneumonia mortality is complex in adults: a prospective multicentre observational study.

BMC Infect Dis. 2017 Dec 6;17(1):755.

[12] Miyahara R, et al. Exposure to paternal tobacco smoking increased child hospitalization for lower respiratory infections but not for other diseases in Vietnam.

Sci Rep. 2017 Mar 31;7:45481.

[13] Suzuki M, et al. Serotype-specific effectiveness of the 23-valent pneumococcal polysaccharide vaccine against pneumococcal pneumonia among adults aged ≥65 years: a multicenter prospective test-negative design study.

Lancet Infect Dis. 2017 Mar;17(3):313-321.

[14] Yamanashi H, et al. Human T-Cell Leukemia Virus-1 Infection Is Associated With Atherosclerosis as Measured by Carotid Intima-Media Thickness in Japanese Community-Dwelling Older People.

Clin Infect Dis. 2018 Jul 2;67(2):291-294.

[15] Izumida M, et al. Fragments of Target Cells are Internalized into Retroviral Envelope Protein-Expressing Cells during Cell-Cell Fusion by Endocytosis.

Front Microbiol. 2016 Jan 19;6:1552.

【キャリア中断者への復帰支援】

当科は大学院進学や家庭の事情等で、キャリアを中断されている医師も応援します。

上記のプログラムにいつからでも、あなたのできるところから参加することが可能です。

大学勤務規定として、医員、パートタイマー、復帰医など、個々の状況に合わせて勤務形態を選択できます。

【総合診療科・救命救急センターとの協力体制】

救命救急センターや総合診療科と相互に人材派遣を行っています。研修医や修練医は、希望があれば感染症内科に所属しながら総合診療科の症例も受け持つことが可能です。総合診療科では2018年から総合診療専門医取得のためのプログラムを開始しており、プログラムの一環として当科で感染症・内科病棟管理の研修をすることも可能です。

=====

【募集要項】

医員（非常勤医師）若干名 随時募集中

修練医（長崎大学病院内科専門研修プログラム; Generality コース／感染症サブスペシャリティコース）定員 4 名（院内全体で 50 名）

【施設見学】 随時受け付けております

【面接日時】

（医員）随時受け付けていますので、日程は相談ください。

（修練医）2018 年 9 月初旬～

【お問い合わせ先】

下記連絡先に必要事項を記入の上 E メールにてご連絡ください。

件名：医員／修練医募集について

- お名前
- 卒業年度
- 現在のご所属
- お問い合わせ内容

※就職に向けた正式な面接をご希望の場合は日時をセッティングしますので、その旨お書きください

=====

連絡先

長崎大学病院感染症内科

熱帯医学研究所臨床感染症分野

助教 高橋健介 MD, Ph.D

kensuket@nagasaki-u.ac.jp

TEL: 095-819-7383

FAX: 095-819-7385